

# 排水補強パイプの作業手順

項目	内 容	留 意 事 項
準 備 工	作業内容及び規制内容の確認 作業人員及び車両配置の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	・安全打合せ書により確認及びKY活動実施 ・作業員全員への周知徹底(埋設物等含む) ・作業別安全チェックシートの活用 ・作業車の安全装置の確認
打設位置の確認 単管架台の設置	打設位置に排水補強パイプが打込み出来るようにマーキングを行う。 単管パイプを組み合わせた架台を設置する。	・作業に関する注意事項を確認し、KYTを行う。 ・作業にあった適切な保護具の着用をする。
排水補強パイプ打込み	単管架台にコンクリートブレーカーを載せ、ブレーカーの丸ノミ先端に専用のアダプターを取り付ける。 排水補強パイプは、斜面に向かって0～5°程度上向きに打ち込む。	・必ず両手でハンドル部を握って、安定した姿勢で打込む。 ・エアホースの口金をしっかりと本体に取り付ける。
後片付け	・現場内および周辺に残材が残らぬよう清掃する。 ・使用した資機材をトラックに積み込む。 ・清掃終了後は、責任者が必ず現場を確認し撤収する。	・使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。

作業編成(標準)		機材		資材		安全器具・保護具	
作業責任者	1 名	エアーコンプレッサー		排水補強パイプ		ヘルメット	保護手袋
現場監視員	1 名	コンクレッサーホース				反射(自発光)チョッキ	安全靴
作業員	2 名	コンクリートブレーカー				警笛	耳栓
		ブレーカー用丸ノミ				保護メガネ(OD7・8)	
		専用アダプター				防塵マスク	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談すること。

## ■注意事項(共通の指導事項)

- 1.機械作業は、有資格者が必ず行う。(免許・資格証は必ず携帯する)
- 2.機械の操作方法、安全装置の確認を充分行うこと。
- 3.作業に合った保護具を使用する。(保護メガネ・防毒・防塵マスク・耐切削用手袋等)
- 4.消火器を設置する。
- 5.一人作業の禁止
- 6.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 7.作業で使用しない工具は、発電機を切るかコンセントを抜き、誤作動がおこらないようにする。